

# 1) 琉球食文化に関する調査研究

久場まゆみ<sup>1</sup>

キーワード：食文化 琉球料理 美榮

## 1. はじめに

琉球文化財研究室では、琉球・沖縄の伝統的な食文化の保存・継承や産業振興、首里城公園等の管理施設における展示解説等に資することを目的として、琉球・沖縄の食文化に関する調査研究を行っている。

## 2. 調査研究の概要

当財団の関連会社である（株）琉球食文化研究所が経営する「琉球料理 美榮」（以下「美榮」とする）と連携し、料理の保存継承を目的として、レシピの記録を実施している。

令和4年度は、料理の記録調査は実施できなかった。しかしながら、「美榮」のスタッフより、クワンソウの収穫や金柑の蜜煮、ムーチー作りについての報告および記録画像（写真-1）を提供いただき、データを保存することができた。



写真-1 美榮の料理（クワンソウの酢漬け、金柑の蜜煮）

今後も美榮の協力を仰ぎ、継承されている琉球料理の調理工程を記録し、データの蓄積を行いたい。またレシピに保存されている料理や王国時代の料理について、美榮スタッフおよび研究顧問と勉強会を行い、料理の再現の可能性について検討したい。

## 3. 普及啓発

以下の小学校における授業において講師を務め、沖縄の歴史と食文化についてスライドを用いて紹介・解説した（写真-2）。また、修学旅行生の探求研修のヒアリング調査では文献資料を用い、2つの

グループからの質問へ回答や解説を行った。

琉球王国時代の食文化だけではなく、終戦後（米軍統治下）の食文化についても関心を寄せることがわかった。王国時代・沖縄県・米軍統治下・復帰後の沖縄の食文化についての特徴等、再度資料の収集・整理が必要である。

- ・2022年11月14日 名護市立大宮小学校・5年生「沖縄の食文化」（遠隔）
- ・2022年12月12日 茨城県立日立北高等学校・2年生 ①「沖縄の食文化（米軍統治下の影響等）」、②「琉球王国時代の食文化」（対面）
- ・2023年1月19日 名護市立緑風学園・5年生「宮廷料理」（対面）



写真-2 緑風学園にて（琉球菓子の食品サンプルを用いて説明）

また、首里城公園のイベントにて沖縄県認証の琉球料理传承人とともに、琉球王国時代から伝わる琉球菓子作りを行い、講師を務めた（写真-3）。菓子が焼きあがるまでの時間に解説パネルを用い、琉球王国時代より伝わる菓子の紹介、歴史背景について解説した。

- ・令和4年5月3日（火）～5月5日（木）首里城公園「2022 ゴールデンウィーク体験イベント」 「琉球のお菓子 “くんぺん”、作り体験」[1日3回]
- ・令和5年2月18日（土）・19日（日）・23日（木・祝）首里城公園「琉球の華みぐい」関連イベント「琉球菓子作り体験」（ちんすこう）[1日3回]

<sup>1</sup>琉球文化財研究室



写真-3 首里城公園系図座・用物座にて(くんぺん作りイベントでの生地作り)

他にも沖縄県立博物館・美術館にて、当財団のおきみゅー、販売推進係との連携イベント「琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ」を実施した(写真-4)。博物館屋外展示場の民家の前庭にて、琉球古典音楽の解説と演奏の後、琉球菓子を実際に味わいながら、解説パネルを用いて琉球菓子の紹介を行った。参加者へのアンケート結果からはおおむね好評との感想や意見を得られたが、運営の中での課題もあり、次回への検討事項となった。

・令和4年11月20日(日) 沖縄県立博物館・美術館 博物館屋外展示場(民家) [2回]



写真-4 おきみゅーの赤瓦の民家にて(琉球菓子の解説)

#### 4. その他

上半期は本土復帰50年のためか、機内誌や旅行雑誌等の取材が多かった(11件)。美榮スタッフの協力を得ながら、シナリオ確認や原稿校正作業を行った。

また琉球料理保存協会のメーリングリストで得たシンポジウムや主催の座学講座等に積極的に参加し、沖縄の食文化の現状や島野菜、世界遺産登録に関する資料や情報収集等を行った。年々、県内だけではなく、県外や海外からの沖縄の食文化への関心が高まっていることが、身をもって感じられた。

#### 5. 外部評価委員会コメント

・継続して取り組んで欲しい。(高良顧問：琉球大学名誉教授)

・予算の執行率が66.3%と低いのはコロナ禍の影響か。王国時代の料理再現に向けた自主事業の進行状況が見えない。次年度に期待する。(西大顧問：生活文化研究所 西大学院学院長)

・コロナ禍の中、色々な活動に制限が加わり、思うような活動が出来なかったと思うが、それなりの活動は評価できると思う。琉球料理美榮で研究会が開催されなかったのは、残念。今後、食文化について研究会が開催されるとよい。(安次富顧問：安次富順子食文化研究所所長)

・概ね順調に進捗している事業と捉えている。また、料理を供したな器(漆器、中国・日本磁器、壺屋焼など)についても引き続き調査を期待する。(宮里顧問：沖縄県文化財保護審議会委員)